



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 日本精鉱株式会社

コード番号 5729 URL <http://www.nihonseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木嶋 正憲

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経理部長兼企画管理部長 (氏名) 渡邊 繁樹

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 03-3235-0021

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,278	45.4	677	46.9	651	47.5	386	12.0
23年3月期第2四半期	5,007	62.3	461	—	441	—	345	—

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 369百万円 (8.5%) 23年3月期第2四半期 340百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	31.51	—
23年3月期第2四半期	28.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	9,746	—	3,822	—	39.2
23年3月期	9,530	—	3,539	—	37.1

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 3,822百万円 23年3月期 3,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	7.00	10.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	24.1	1,000	14.0	950	15.0	620	△9.5	50.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	13,029,500 株	23年3月期	13,029,500 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	768,703 株	23年3月期	767,964 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	12,261,311 株	23年3月期2Q	12,265,329 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（以下「当第2四半期」という）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの、7月の時点で鉱工業生産並びに輸出数量の水準は震災前の9割程度まで回復し、個人消費においても地上デジタル放送への移行に伴う薄型TVの駆け込み需要など家電製品の販売好調、また、サプライチェーンの立て直しに伴う生産体制の回復による自動車販売の急回復等、景気は全般的に震災による落ち込みからの持ち直しの動きが見られました。

しかし、欧州における財政・金融不安並びに米欧諸国における緊縮財政政策などによる海外経済の減速や、円高の長期化が今後の輸出・生産を下押しするリスクが高まっている状況が危惧されます。

当社グループを取り巻く当第2四半期における事業環境は、後述のとおりアンチモン事業及び金属粉末事業ともに販売はほぼ順調に推移しました。

その結果、当第2四半期の売上高は前年同期比2,270百万円増収（45.4%増収）の7,278百万円、営業利益は216百万円増益（46.9%増益）の677百万円、経常利益は209百万円増益（47.5%増益）の651百万円、四半期純利益は41百万円増益（12.0%増益）の386百万円となりました。

セグメントごとの業況は次のとおりです。

[アンチモン事業]

同事業の原料であり、製品販売価格の基準ともなるアンチモン地金の国際相場は、6月に入って若干の下げ基調が見られましたが、当第2四半期の平均はトン当たり15,416ドルで、前年同期の9,191ドルに比して67.7%アップという高い水準で引き続き推移しました。

一方、同事業の販売状況につきましては、当第2四半期の販売数量は前年同期比61トン減少（1.8%減少）の3,400トンで、ほぼ前年同期並みでありました。

その結果、同事業の当第2四半期の売上高は、販売数量は微減でありましたが、上述の相場の上昇に伴う製品販売価格のアップにより、前年同期比1,690百万円増収（60.0%増収）の4,510百万円となりました。セグメント利益は、原料代の上昇に見合う製品価格のアップを取引先各社に認めて戴き、また、加工費の低減に鋭意努めた結果、前年同期比230百万円増益（155.7%増益）の378百万円となりました。

[金属粉末事業]

同事業においては、東日本大震災直後は自動車部品に連動する粉末冶金向け金属粉を中心に国内需要が減少したものの、サプライチェーンの復旧に伴い需要も回復し、また、電子部品向け微粉末金属粉は特に海外向け需要の好調が続き、同事業業績の牽引役となっています。

用途別に販売状況の実績を見ますと、粉末冶金向け金属粉の当第2四半期の販売数量は、前年同期比15トン増加（1.5%増加）の970トン、電子部品向け微粉末金属粉は前年同期比165トン増加（70.1%増加）の402トンを売上げ、全体では前年同期比180トン増加（15.1%増加）の1,372トンでありました。

その結果、同事業の当第2四半期の売上高は、前年同期比580百万円増収（26.7%増収）の2,755百万円、セグメント利益は販売数量が増加したものの、来年4月の新工場稼働を見据えた要員新規採用による労務費の増加等を主因とする売上原価の増加があったため、前年同期比17百万円減益（6.0%減益）の280百万円となりました。

[その他]

当第2四半期における売上高は12百万円（前年同期比0.6%減収）、セグメント利益は12百万円（前年同期比0.7%増益）でありました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は6,781百万円となり、前連結会計年度末と比べ112百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が339百万円減少及び流動資産のその他に含まれる繰延税金資産が129百万円減少いたしました。受取手形及び売掛金が405百万円、原材料及び貯蔵品が159百万円増加したことによるものであります。固定資産は2,958百万円となり前連結会計年度末に比べ104百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物の減少22百万円、機械装置及び運搬具の減少61百万円及び投資その他の資産の減少25百万円等でありましたが、有形固定資産のその他（建設仮勘定等）の205百万円増加によるものであります。

この結果、総資産は、9,746百万円となり、前連結会計年度末と比べ216百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,945百万円となり、前連結会計年度末と比べ689百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が210百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が866百万円減少したことによるものであります。固定負債は1,978百万円となり前連結会計年度末に比べ622百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加638百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、5,923百万円となり、前連結会計年度末と比べ67百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,822百万円となり、前連結会計年度末と比べ283百万円増加いたしました。これは主に剰余金の配当による減少85百万円がありましたが、四半期純利益による増加386百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は39.2%（前連結会計年度末は37.1%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、アンチモン事業、金属粉末事業ともに、当第2四半期累計期間においては震災による落ち込みからの持ち直し等があり、業績も順調に推移致しました。

第3及び第4四半期（平成23年10月～平成24年3月）においては、円高、電力不足、欧州財政危機、中国の成長ペースの減速、タイの洪水等の懸念により、景気の不確実性が高まることが予想されます。

このような事業環境下において、通期の売上高は個別、連結共に期初予想より若干の減収となる見込みですが、製造効率改善やコスト削減に伴い、営業利益、経常利益、当期純利益はほぼ期初予想数値を確保出来る見込みです。

通期の売上高は前期比2,621百万円増収（24.1%増収）の13,500百万円、営業利益は123百万円増益（14.0%増益）の1,000百万円、経常利益は123百万円増益（15.0%増益）の950百万円、当期純利益は税金費用の増加により65百万円減益（9.5%減益）の620百万円と予想しています。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,026,257	1,686,343
受取手形及び売掛金	2,234,189	2,639,604
有価証券	1,000	1,000
商品及び製品	1,117,160	1,167,616
仕掛品	144,150	164,121
原材料及び貯蔵品	893,056	1,052,149
その他	259,729	79,060
貸倒引当金	△7,371	△8,879
流動資産合計	6,668,172	6,781,015
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	616,624	594,486
機械装置及び運搬具(純額)	461,166	400,098
土地	1,478,590	1,478,590
その他(純額)	78,892	284,237
有形固定資産合計	2,635,274	2,757,413
無形固定資産	25,752	32,862
投資その他の資産	193,656	168,535
固定資産合計	2,854,683	2,958,810
繰延資産	7,611	6,788
資産合計	9,530,466	9,746,615

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,071,138	1,205,040
短期借入金	1,993,200	2,203,200
未払法人税等	187,147	129,965
賞与引当金	101,952	94,769
その他	281,158	312,083
流動負債合計	4,634,596	3,945,059
固定負債		
社債	330,000	316,000
長期借入金	512,300	1,150,700
退職給付引当金	276,574	296,692
その他の引当金	20,150	11,285
負ののれん	64,024	48,214
資産除去債務	35,385	35,590
その他	117,869	120,155
固定負債合計	1,356,303	1,978,638
負債合計	5,990,899	5,923,697
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,126	1,018,126
資本剰余金	564,725	564,725
利益剰余金	2,107,110	2,407,692
自己株式	△133,145	△133,358
株主資本合計	3,556,817	3,857,186
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17,249	△34,268
その他の包括利益累計額合計	△17,249	△34,268
純資産合計	3,539,567	3,822,917
負債純資産合計	9,530,466	9,746,615

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	5,007,181	7,278,034
売上原価	4,169,283	6,190,819
売上総利益	837,897	1,087,215
販売費及び一般管理費	376,338	409,221
営業利益	461,559	677,993
営業外収益		
受取配当金	880	1,270
負ののれん償却額	15,809	15,809
助成金収入	3,045	715
その他	1,605	4,430
営業外収益合計	21,340	22,225
営業外費用		
支払利息	28,876	29,565
為替差損	8,352	9,270
その他	3,829	9,768
営業外費用合計	41,059	48,605
経常利益	441,840	651,613
特別損失		
固定資産売却損	—	44
固定資産除却損	41	1,500
子会社清算損	—	611
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	30,389	—
特別損失合計	30,430	2,156
税金等調整前四半期純利益	411,409	649,457
法人税、住民税及び事業税	120,199	127,776
法人税等調整額	△53,798	135,268
法人税等合計	66,400	263,045
少数株主損益調整前四半期純利益	345,008	386,412
四半期純利益	345,008	386,412

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	345,008	386,412
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△4,542	△17,018
その他の包括利益合計	△4,542	△17,018
四半期包括利益	340,466	369,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	340,466	369,393

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (4) セグメント情報等
(セグメント情報)

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,819,724	2,175,022	4,994,746	12,434	5,007,181	—	5,007,181
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	19,398	19,398	754	20,153	△20,153	—
計	2,819,724	2,194,420	5,014,145	13,189	5,027,334	△20,153	5,007,181
セグメント利益	147,867	298,614	446,482	12,768	459,250	2,309	461,559

- (注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。
2. セグメント利益の調整額2,309千円はセグメント間取引の消去2,309千円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,510,187	2,755,480	7,265,668	12,365	7,278,034	—	7,278,034
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	22,091	22,091	990	23,081	△23,081	—
計	4,510,187	2,777,571	7,287,759	13,355	7,301,115	△23,081	7,278,034
セグメント利益	378,130	280,653	658,784	12,852	671,636	6,356	677,993

- (注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。
2. セグメント利益の調整額6,356千円はセグメント間取引の消去6,356千円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。